

15  
7  
聖徒伝 47

# 「ラツパの音に 押し出されて」

民数記 1～10章

イスラエルの点呼と出発

民数記 ①

## 【今日のアウトライン】

0. ふりかえり

I. 点呼 1～4章

II. 律法の追加 5～8章

III. 出発 9～10章

IV. まとめと適用

信じた時から始まった  
信仰者の旅路を歩もう



# 【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

## 【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

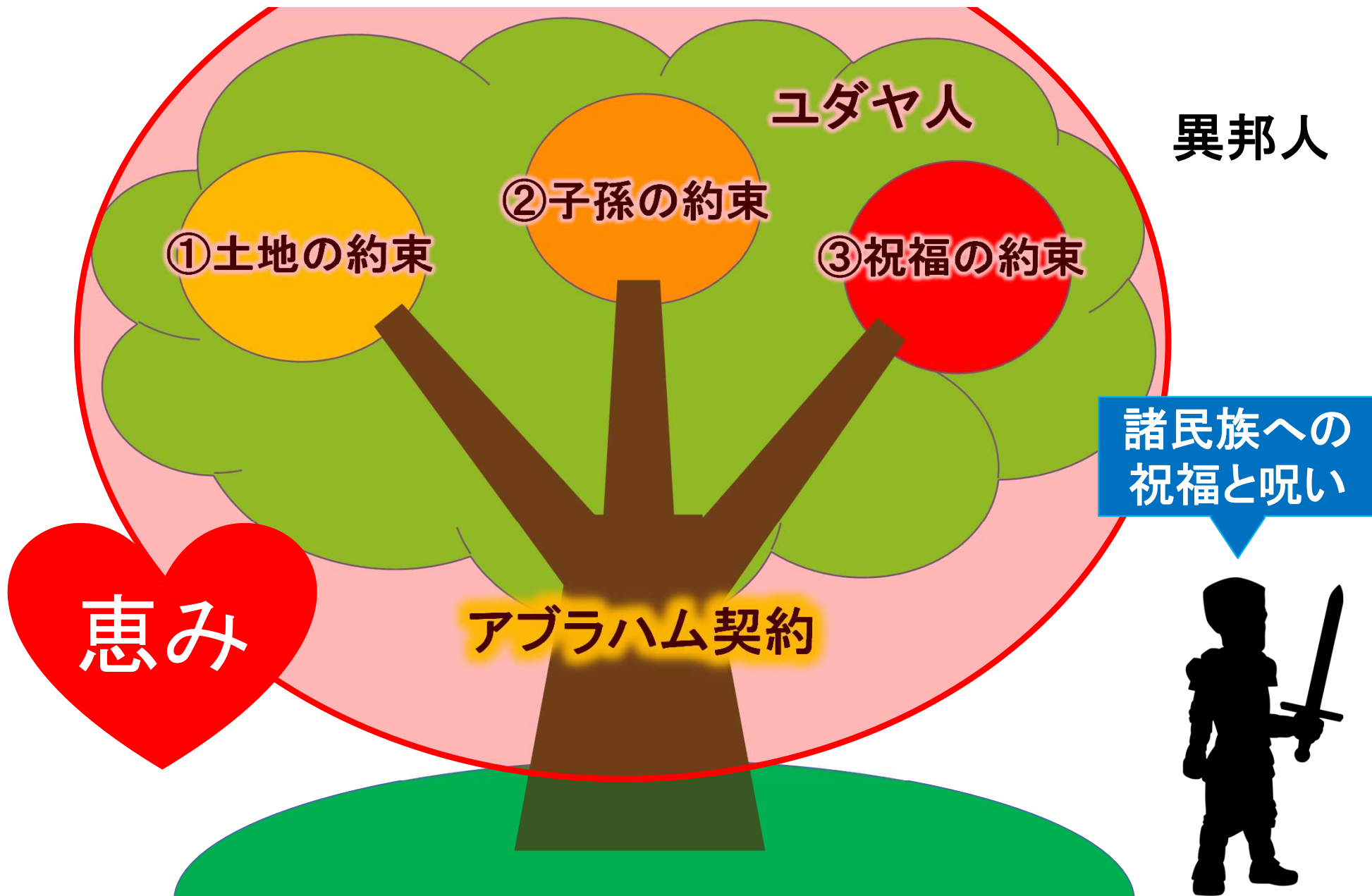
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

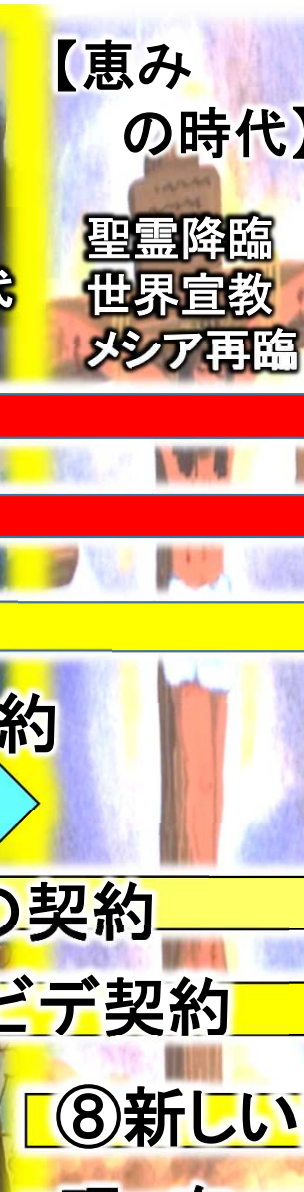
※しるし ...割礼

律法の土台にも、  
アブラハム契約がある!!



【アブラハム契約】





【無垢の時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪  
~大洪水

バベルの塔事件

アブラハム  
~ヤコブ

イスラエル王国時代  
メシア初臨

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来

## 【モーセの律法 十戒とは？】

### ★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項  
(出20:1～申28:68)

### ★モーセの律法の七つの特徴

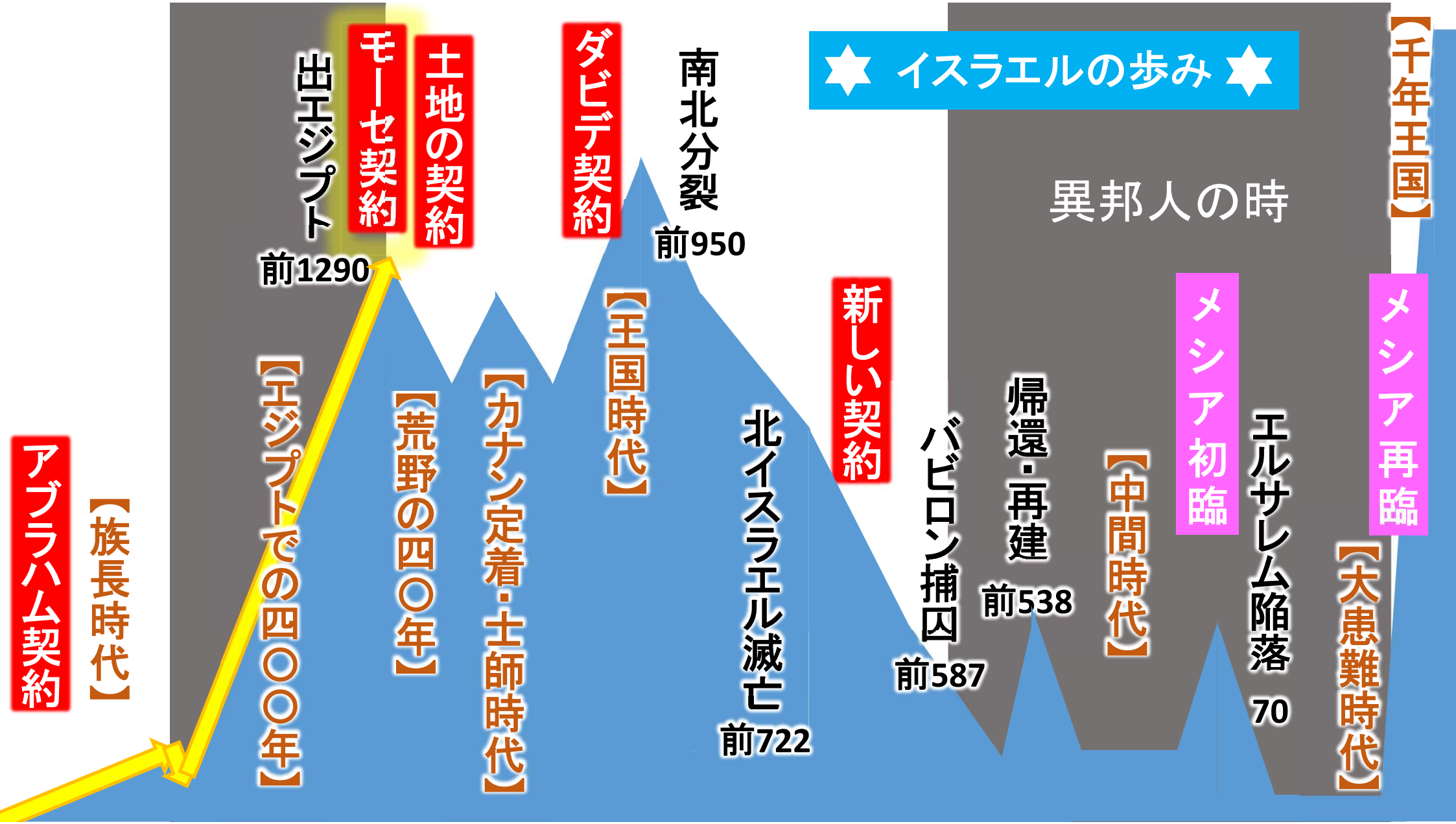
- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。



律法は、条件付き契約

従えば、祝福。破れば、呪い

★ イスラエルの歩み ★



異邦人の時

【千年王国】

メシア再臨

【大患難時代】

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

【荒野の四〇年】

【エジプトでの四〇〇年】

前1290

出エジプト

モーセ契約

土地の契約

【族長時代】

アブラハム契約

# 【イスラエルの荒野の歩み】

■エジプト → シナイ山まで

3ヶ月

## ■シナイ山での律法授与

- ① 一度目 40日間
- ② 金の子牛事件
- ③ 二度目 40日間

3ヶ月

## ■幕屋建設

(律法の学び?!)

6ヶ月

■点呼・出発 実践的訓練!!

1ヶ月後



民数記



An aerial photograph of a vast, arid landscape. The terrain is characterized by rolling hills and a central valley, all rendered in shades of brown and tan. The lighting suggests a bright, sunny day, casting soft shadows that emphasize the contours of the land. The overall scene is desolate and expansive.

**I . 人口調査・点呼**      **民数記1～4章**

## 【人口調査の命令】 民数記1:1～3

エジプトの地を出て二年目の第二の月の一日\*に、  
【主】は、シナイの荒野の会見の天幕でモーセに告げられた。

「イスラエルの全会衆を、氏族ごと、一族ごとに調べ、すべての男子を一人ひとり名を数えて、その頭数を調べよ。あなたとアロンは、イスラエルにおいて、二十歳以上で戦に出ることができる者\*をすべて、その軍団ごとに登録しなければならない。

\* 幕屋建設の一ヶ月後。

\* 兵役につける20歳以上のすべての男子。

点呼

座学期間は終了

いよいよ実地訓練

戦いの舞台へ



イスラエルの人口調査の結果・1章  
(出エジプト第2年第1月1日〜20日)

部族	人数
①ユダ	74,600人
②ダン	62,700人
③シメオン	59,300人
④ゼブルン	57,400人
⑤イッサカル	54,400人
⑥ナフタリ	53,400人
⑦ルベン	46,500人
⑧ガド	45,650人
⑨アシエル	41,500人
⑩エフライム	40,500人
⑪ベニヤミン	35,400人
⑫マナセ	32,200人

### ■ヨセフから出た2部族

エフライム+マナセ=72,700人

→ヨセフ族が、2位に浮上!!

### ■ヤコブの預言(創世記49章)で

メシアの誕生が予告された

→ユダ部族が、1位

長子権を授けられた

→ヨセフ族が、2位

### ■幕屋で働くレビ人は兵役免除

すべて主が命じられた通りに!!

# 【イスラエル全部族の隊列・2章】

北 ↑ 157,600人



ゲルシヨン



アロン  
モーセ



東 → 186,400人

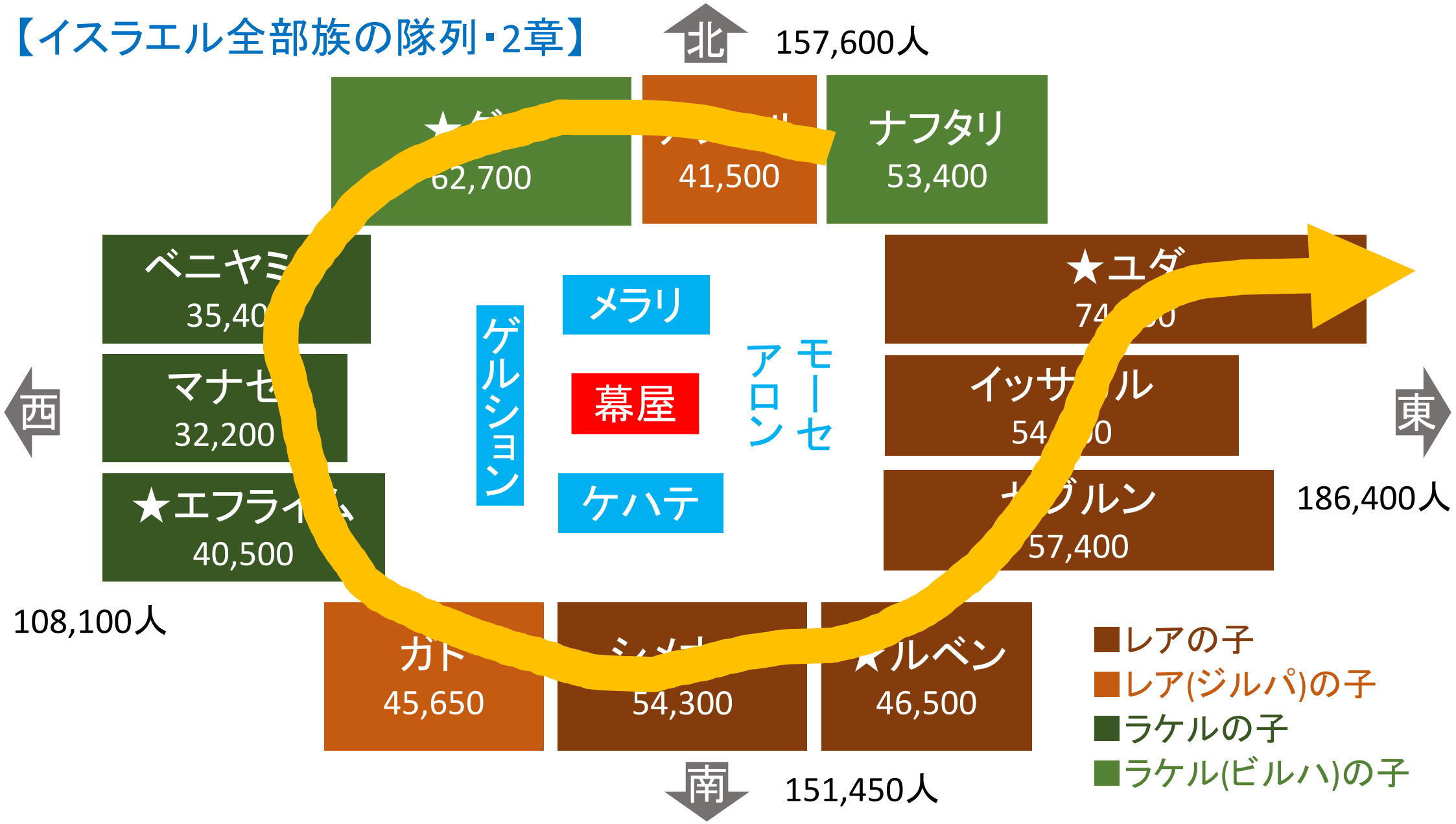
108,100人



南 ↓ 151,450人

- レアの子
- レア(ジルパ)の子
- ラケルの子
- ラケル(ビルハ)の子

# 【イスラエル全部族の隊列・2章】

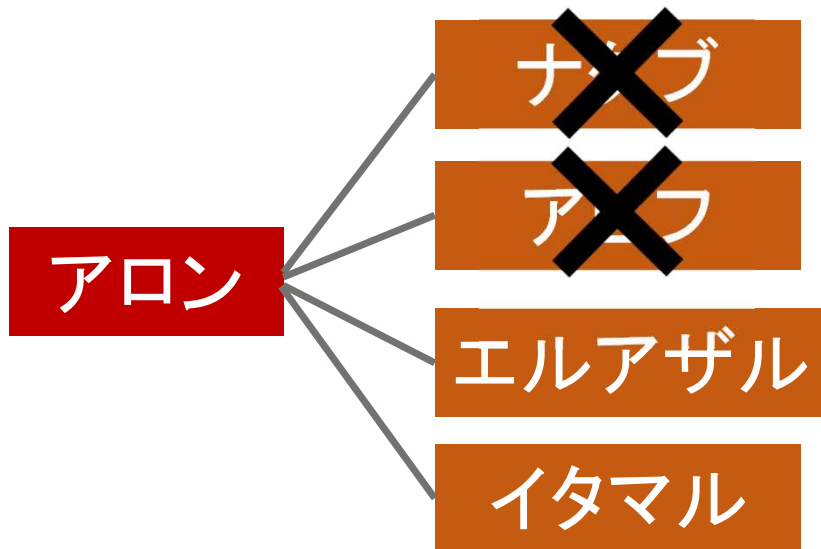


## 【アロンの系図】 民数記3:1～4

アロンの家系が油注がれ、  
祭司とされ、神殿で主に仕えた。



3:4 ナダブとアビフは、シナイの荒野で【主】の前に異なる火を献げたときに、【主】の前で死んだ。彼らには子がいなかった。それでエルアザルとイタマルが父アロンの生存中から祭司として仕えた。



## 【レビ人による初子の贖い】 民数記3:40～51

■主は、律法に基づき、イスラエルの初子をレビ人によって贖うように、命じられた。

■出エジプト以降、誕生したイスラエルの初子が、22,273人。

➡人口調査時点でのレビ人が、22,000人。

■足りない273人分は、「贖いの代金」一人5シエケルで買い取られた。

■すべての初子は、主のもの。真実の初子は、イエス・キリスト。

私たちは、キリストの尊い血によって贖われた。I ペテロ1:19

【レビ族の  
系譜・役割】  
民数記3～4章

**レビ人**  
22,000人  
■ 生後1ヶ月以上  
**(8,580人)**  
■ (30～50歳)

**ゲルシオン族**  
7,500人

- リブニ
- シムイ

**ケハテ族**  
8,600人

- アムラム
- イツハル
- ヘブロン
- ウジエル

**メラリ族**  
6,200人

- マフリ
- ムシ

幕の運搬  
**(2,630人)**

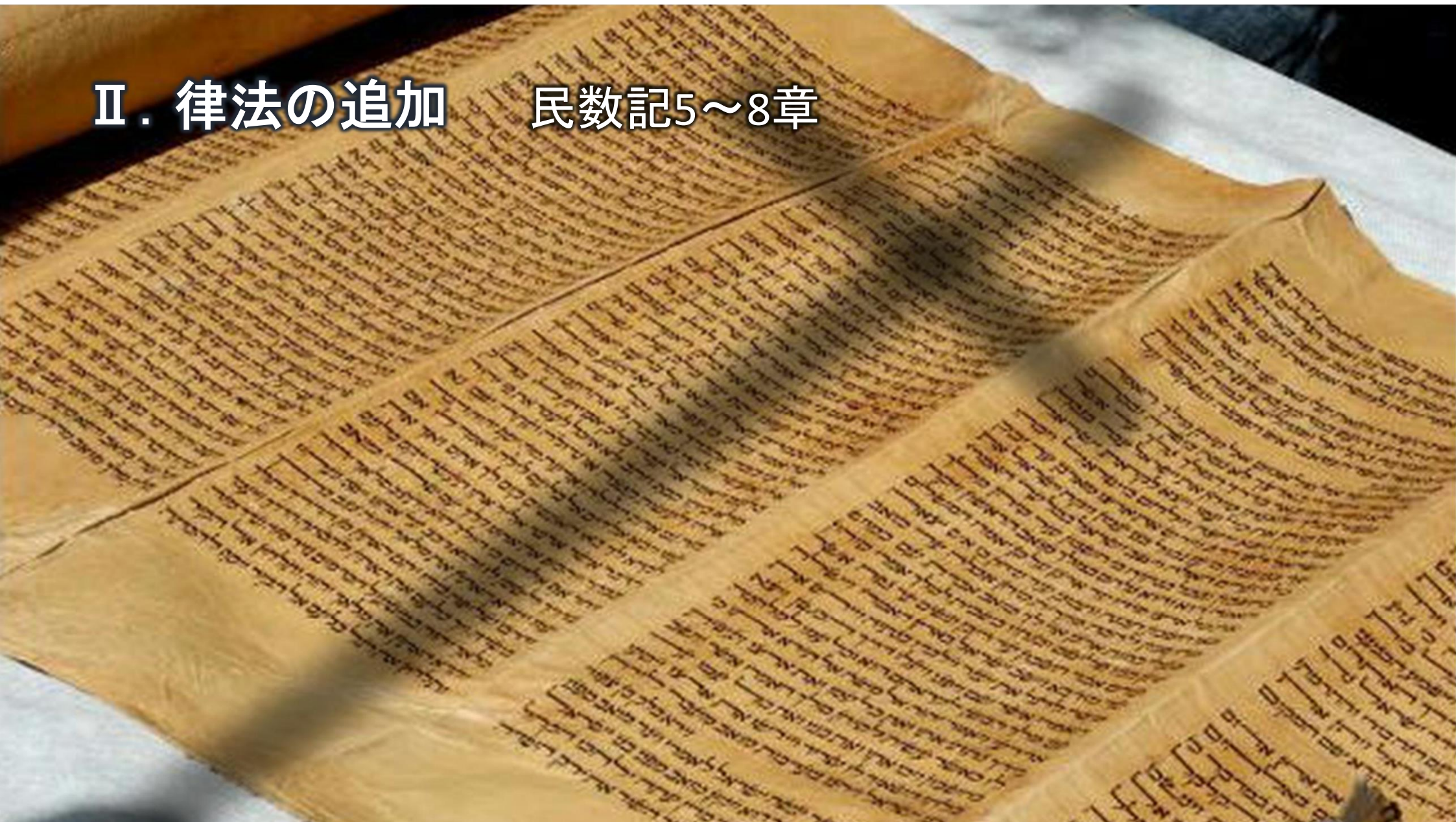
モーセ  
アロン  
祭具の運搬  
**(2,750人)**

板・台座の運搬  
**(3,200人)**



## Ⅱ. 律法の追加

民数記5～8章



## 【宿営のきよめ】 民数記5:1～10

■ 律法は、神の聖と人の罪を教えた。

➡ 人が神に近づく唯一の道が、幕屋での神の祭儀。

■ 幕屋には、神の臨在があり、栄光が宿っていた。

➡ 罪人は、律法が定めたきよめによらずには、誰も幕屋に近づけない。 ➡ **祭司のみに許された**

■ 主は、律法に基づく徹底したきよめを求められた。

**戦いに赴く、行軍の準備が整えられていく!!**



## 【律法(追記)・姦淫の判定】 民数記5:11～31

■ 夫が妻に姦通疑惑を抱いた場合の判定の規定

■ なぜ、こんな律法が、ここに記載されている？

■ 疑惑の念は、人の心を神から遠ざける

神の兵士は、主の平安に満たされている必要が!!

→主に判断を委ね、平安を得なければならない。

**※注意** ...神の臨在の中で、神ご自身が判定された。

呪術ではないので、マネしても無意味。

今の教会時代、律法の役割は終了。



## 【律法(追記)・ナジル人の誓願】 民数記6:1～21

■ ナジル人とは、特定期間の特別な神への請願者。

期間中、①ぶどう酒を断ち、②髪を切らず、

③死体から遠ざかった。

■ 誓願成就の際の捧げ物は、大祭司の任職と同等。

➡今の時代には、すべての信者が、神の祭司!!

■ 生まれながらのナジル人もいた。

➡サムソン、サムエル、バプテスマのヨハネ

究極のナジル人は、メシア、イエス・キリスト



## 【レビ人への捧げ物】 民数記7:1～9

7:1～2 モーセは幕屋を設営し終えた日\*に、これに油注ぎをして、聖別した。そのすべての器具と、祭壇およびそのすべての用具にもそうした。彼がそれらに油注ぎをして聖別したとき、イスラエルの族長たち、すなわち一族のかしらたちが近づいた。彼らは部族の長たちで、登録に当たった者たちである。

\* 7～9章は、幕屋建設直後の出来事

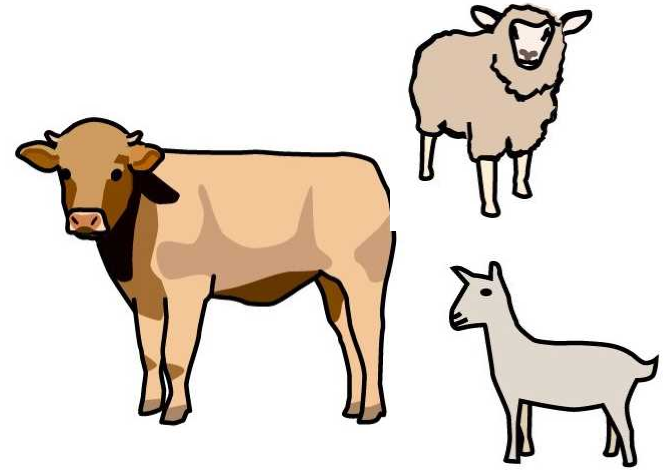
■ 長老たちが寄贈した雄牛と台車が、幕屋の幕、板、台座の運搬に用いられることになった。

➡ 契約の箱と他の祭具は、直接かついだ!!



## 【族長たちの捧げ物】 民数記7:10～17

- 族長たちは祭壇奉獻の捧げ物を捧げた。  
→ 捧げ物の順番は、行軍の順番と同じ。



- 捧げ物は、12部族、全く同じ!!

- ① 油を混ぜた小麦粉を入れた銀の皿1つ (130シェケル、1,5kg)
- ② 油を混ぜた小麦粉を入れた銀の鉢1つ (70シェケル、800g)
- ③ 香を満たした金のひしゃく1つ (10シェケル、110g)
- ④ 全焼のささげ物 (若い雄牛1頭、雄羊1匹、1際の雄羊1匹)
- ⑤ 罪のきよめのささげ物 (雄やぎ1匹)
- ⑥ 交わりのいけにえ  
(雄牛2頭、雄羊5匹、雄やぎ5匹、一切の雄の子羊5匹)

全部族は、自発的に、喜んで捧げた

## 【レビ人のきよめ】 民数記8:1～26

■まず、奉仕の場、聖所を照らすメノラー(燭台)が灯された。



■祭司のきよめは既述。ここは、レビ人のきよめ。

➡祭司はアロンの家系のみ。レビ人は祭司を補助した。

■レビ人のきよめ

①「罪のきよめの水」をふりかける。

②全身の毛を剃る ③衣服を洗う

④雄牛2頭を「罪のきよめのささげ物」「全焼のささげ物」にささげる。

⑤イスラエル全会衆を集め、代表者がレビ人に手を置く。

■レビ人自身が、イスラエルからの奉獻物として主にささげられた。

罪きよめられたクリスチャンは、真実の主への奉獻物。ヨハネ4:23



【祭司の国イスラエルの  
レビ人・祭司の位置づけ】

大祭司

祭司

レビ人

イスラエル

【レビ人の奉仕期間】

- ・25歳から見習い
- ・30～50歳まで奉仕

異邦人(すべての民族)





神

真実の大祭司は  
主イエス・キリスト

【祭司の国イスラエルの  
レビ人・祭司の位置づけ】

大 司

【レビ人の奉仕期間】

- ・25歳から見習い
- ・30～50歳まで奉仕

レ 人

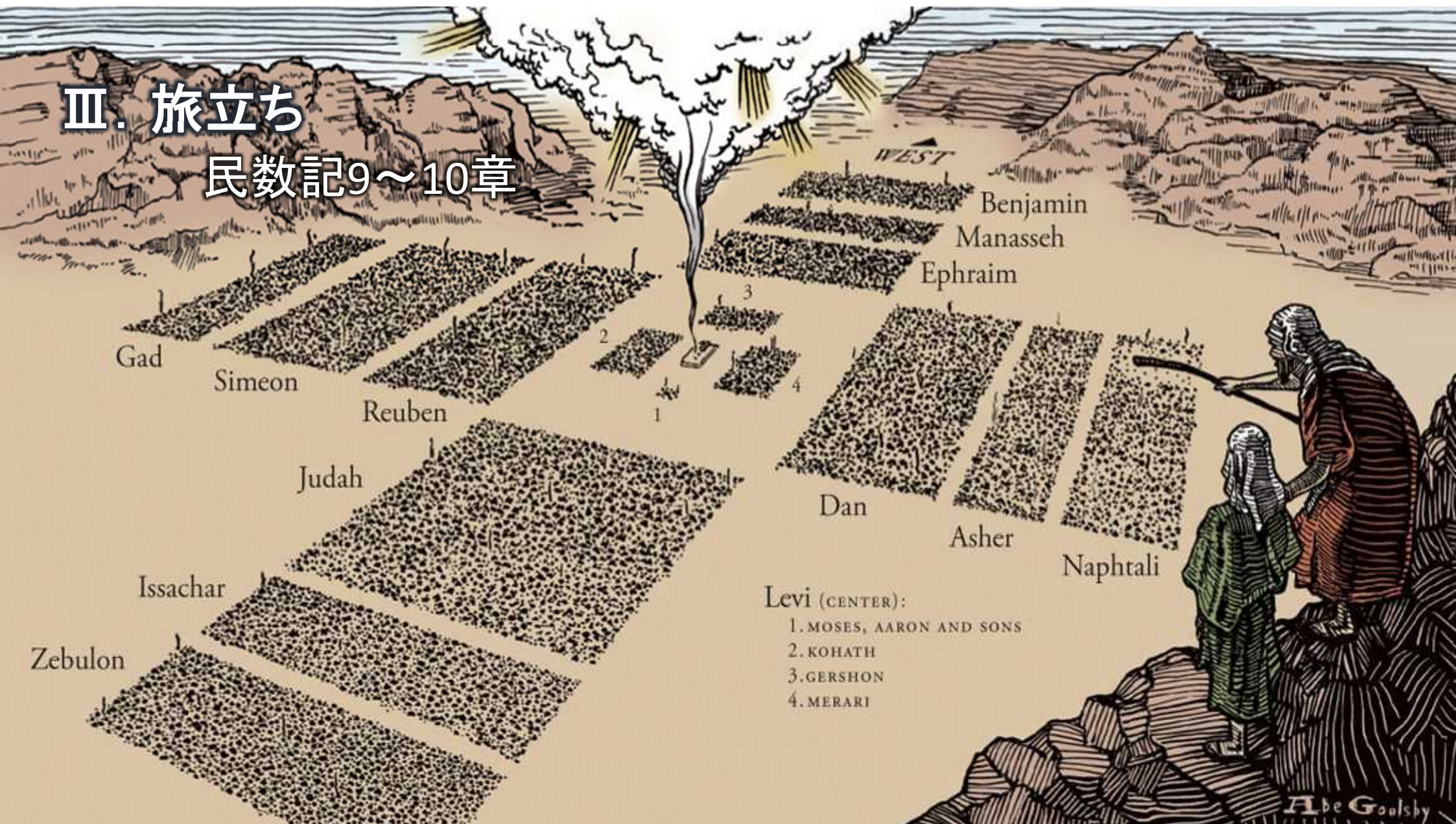
イスラエル

異邦人(すべての民族)



# Ⅲ. 旅立ち

## 民数記9～10章



## 【2年目の過越祭】 民数記9:1～14

■ 出エジプトから1年後。第1月の14日、  
二度目の**過越祭**が祝われた。

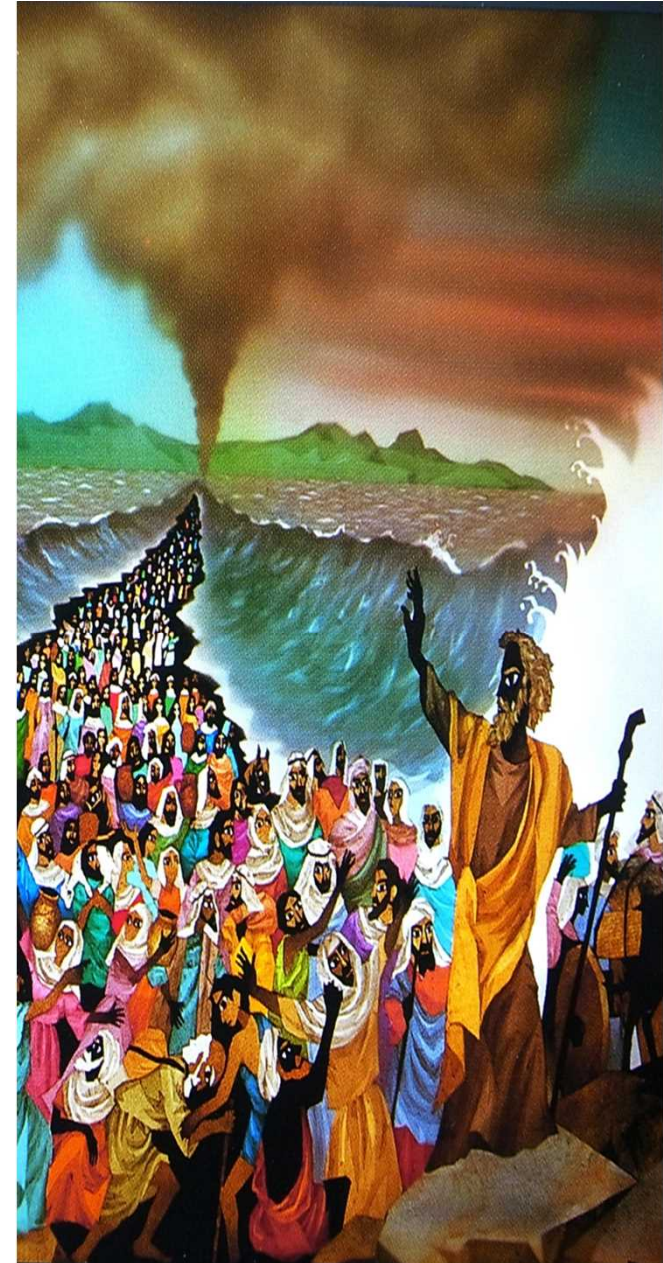
➡イスラエルの民族としての出発を覚える日

■ エジプトを出て初めて迎えた過越祭。

➡この半月後に、イスラエルは、シナイを出発し、  
いよいよ約束の地へと上る。

■ 死体に触れて汚れていた者などには、月遅れで  
過越祭を祝うことが許された。

■ 在留異国人は、希望すれば、割礼を受け、イスラ  
エルと同じようになることで、過越祭に預かれた。



## 【2本の銀のラツパ】 民数記10:1～10

■ 通常用いられるのは、雄羊の角笛(ショファール)

➡ ここでは、**銀のラツパ**(ハツオーツラー)  
祭司のみ、吹き鳴らすことができた。

### ■ 吹き方による意味

① 2本同時に長く吹く ➡ 全会衆の集合

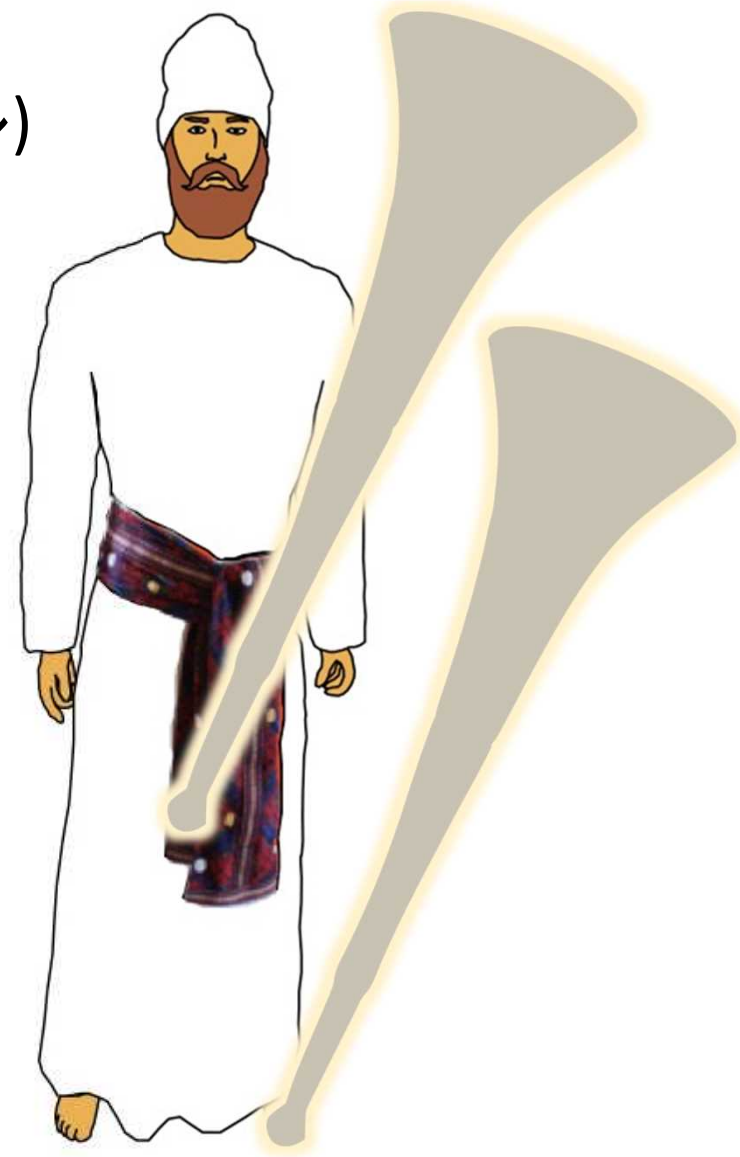
② 1本だけ長く吹く ➡ 族長たちの集合

③ 短い警告音 ➡ 出発する合図。

陣営ごとに、東➡南➡西➡北

④ 短く吹き鳴らす ➡ 戦闘開始

⑤ 七つの例祭と新月の日にも吹かれた。



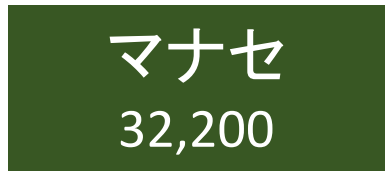
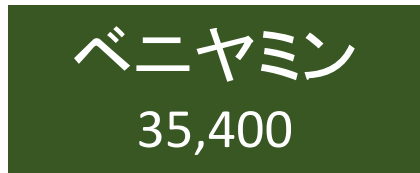
【旅立ち】 民10:11~13

二年目の第二の月の二十日に、  
雲があかしの幕屋の上から離れて上った。  
それでイスラエルの子らはシナイの荒野を旅立った。  
雲はパランの荒野でとどまった。  
彼らは、モーセを通して示された【主】の命により初めて旅立った。



# 【イスラエル全部族の隊列】

北 ↑ 157,600人



ゲルシヨン



アロン  
モーセ



東 → 186,400人

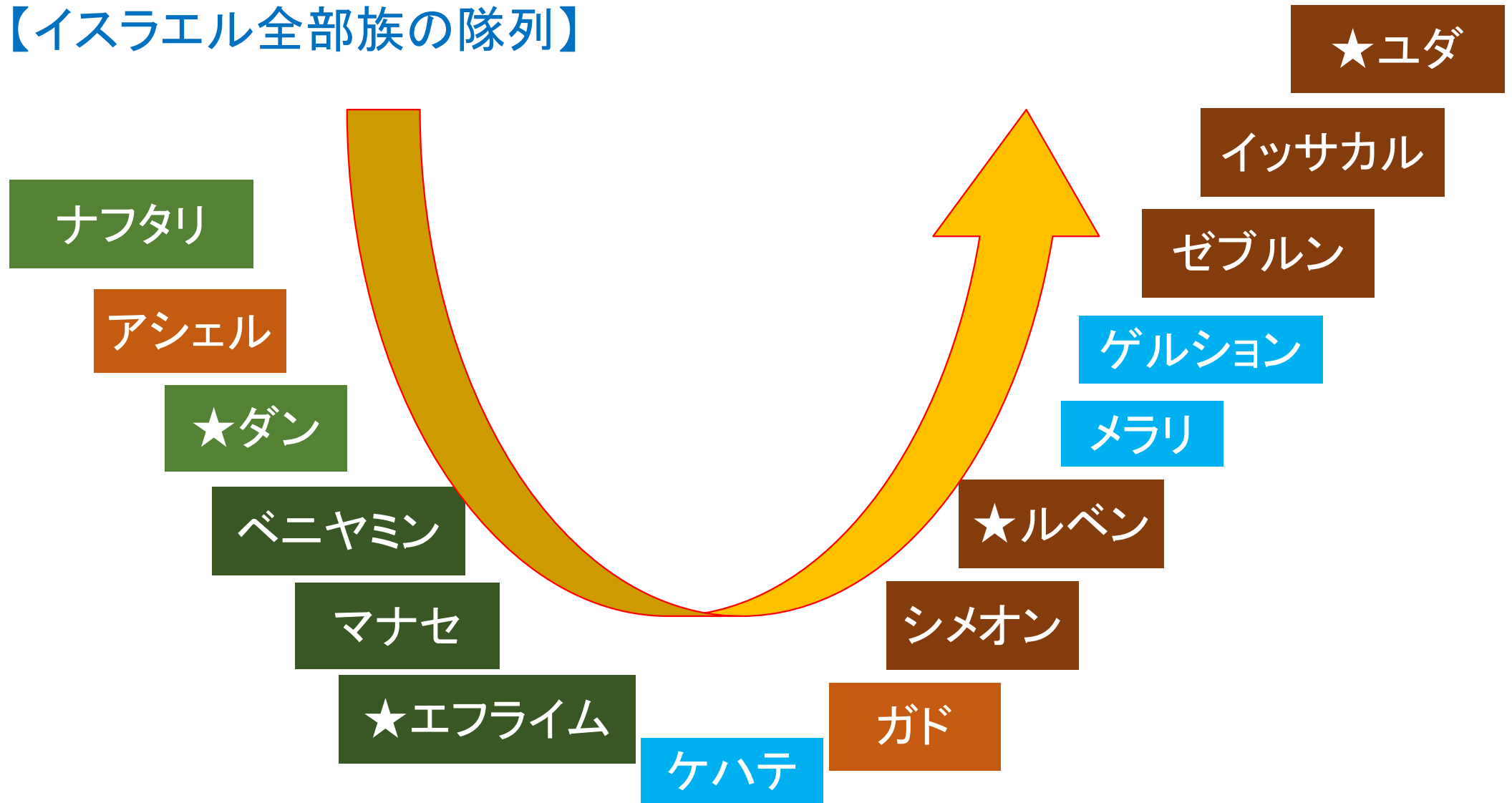
西 ← 108,100人



南 ↓ 151,450人

- レアの子
- レア(ジルパ)の子
- ラケルの子
- ラケル(ビルハ)の子

# 【イスラエル全部族の隊列】



## 【義兄弟ホハブ】 民数記10:29～32

■ モーセの舅、主に仕えるミディアン人レウエルの子  
ホハブが共にいた。

➡ 助言を与えたレウエルが去った後も、とどまっていた。

■ 出発に際し、モーセは、ホハブにとどまるようお願い、  
ホハブは、イスラエルと同行することとなった。

■ 後にホハブの一族は、約束の地に共に住んだ。

“モーセの義兄弟であるケニ人の子孫(士師1:16)”





【主の栄光に導かれて】 民数記10:33～36

10:33 こうして、彼らは【主】の山を旅立ち、三日の道のりを進んだ。\*【主】の契約の箱は三日の道のりの間、彼らの先に立って進み、彼らが休息する場所を探した。10:34 彼らが宿営から出発する際、昼間は【主】の雲が彼らの上にあった。10:35 契約の箱が出発するときには、モーセはこう言った。「【主】よ、立ち上がってください。あなたの敵が散らされ、あなたを憎む者が、御前から逃げ去りますように。」10:36 またそれがとどまるときには、彼は言った。「【主】よ、お帰りください。イスラエルの幾千幾万もの民のもとに。」

\* まずは三日の道のりから。主は、段階的に民を訓練される

**神の栄光が、イスラエルの民を導かれた!!**



### Ⅲ. まとめと適用

信じた時から始まった  
信仰者の旅路を歩もう



## 【民の出発・主の栄光に導かれて】 民数記9:15～23

(※民数記9:15～23は、出エジプト記の最後、幕屋の官営直後から、イスラエルの出発までをつなぐものとなっている。)

9:15 幕屋が設営された日、雲が、あかしの天幕である幕屋をおおった。それは、夕方には幕屋の上にあって朝まで火のようであった。

9:16 いつもこのようであって、昼は雲がそれをおおい、夜は火のように見えた。

9:17 いつでも雲が天幕から上るときには、その後でイスラエルの子らは旅立った。また、雲がとどまるその場所で、イスラエルの子らは宿営した。

9:18 【主】の命によりイスラエルの子らは旅立ち、【主】の命により宿営した。雲が幕屋の上にとどまっている間、彼らは宿営した。

## 【民の出発・主の栄光に導かれて】 民数記9:15～23

9:19 雲が長い間、幕屋の上にとどまるときには、イスラエルの子らは【主】への務めを守って、旅立たなかった。

9:20 また、雲がわずかの間しか幕屋の上にとどまらないことがあっても、彼らは【主】の命により宿営し、【主】の命により旅立った。

9:21 雲が夕方から朝までとどまるようなときがあっても、朝になって雲が上れば、彼らは旅立った。昼でも夜でも、雲が上れば旅立った。

9:22 二日でも、一月でも、あるいは一年でも、雲が幕屋の上にとどまって、去らなければ、イスラエルの子らは宿営を続けて旅立たなかった。しかし、雲が上ったときは旅立った。

9:23 彼らは【主】の命により宿営し、【主】の命により旅立った。彼らはモーセを通して示された【主】の命により、【主】への務めを守った。

## 【イスラエルを導いた神の栄光・シャカイナグローリー】

■ イスラエルは、幕屋に宿られた神の栄光に導かれた。

導かれるまま、朝でも夜でも出発し、一日でも一年でも滞在した。

■ 福音を信じたクリスチャンの内にも、栄光の主が住まわれている。

内住の聖霊が命じられるままに、信仰者は歩いていく。

■ ただ主に従ったイスラエルは、一切の世の縛りから自由を得た。

ただ御霊に従って歩むクリスチャンは、真実の自由を得ている。

➡ 聖霊がもたらす最大の働きは、御言葉を正しく理解させること。

## 【主イエスの言葉】 ヨハネ8:31～32

「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。  
あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

【聖霊による、まことの礼拝をささげよう】

■ イスラエルは、レビ人を民族の贖いとして捧げ、  
レビ人は、主に仕え、幕屋で礼拝した。

■ クリスマスは、主イエスの犠牲によって、贖いだされたもの。  
十字架の血潮できよめられ、主の目に適う者とされた。

➡この身を主に献げるなら、主は喜んで受け取ってくださる。

【主イエスの言葉】 ヨハネ4:23

「しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」

【世のただ中へ、靈的戦いのために招集された私たち】

■ イスラエルは、ラッパの音によって招集され、進軍を始めた。

■ クリスマンもまた、主によって、靈的戦いに召し出されている。

私たちの戦いの武器は、御言葉。吹き鳴らすべきは、福音の宣言。

“あなたの罪のために、主イエス・キリストは、十字架にかけられ、死んで葬られ、死を打ち破って復活された。”

■ 「どうか、この福音を信じて、主イエスを受け入れてください」と、世のただ中に遣わされて行こう。あなたを待っている人がいる。主が用意されている、驚くべき出会いと、救いの御業がある!!

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、

②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、

③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

イスラエルのように、あなたは私を靈的戦(れいてきたたか)いに  
招集(しょうしゅう)されました。

主の栄光(えいこう)が、この身(み)を満(み)たし、導(みちび)かれます。

福音宣教(ふくいんせんきょう)の使命(しめい)に、平安(へいあん)の  
内(うち)に、この身(み)を遣(つか)わしてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」